

この説明文書は服用前に必ずお読み下さい。また、必要な時に読めるよう大切に保管して下さい。

便秘薬

ウエストンビセラ[®]

第②類医薬品

不規則な食事や偏食、運動不足をはじめ朝時間に追われて朝食を抜いたり、便意をがまんすると腸の働きに乱れを生じて便秘症状が起こります。便秘が続くと、お腹がはったり、肌あれや吹出物などの原因となることもあります。

ウエストンビセラは、腸で溶けるコーティングをほどこしたピンクのフィルム錠です。有効成分のピサコシルとセンノシドが大腸の正常なぜん動運動（排便に必要な運動）を促進して、便秘を改善します。さらに、ウエストンビセラには、有胞子性乳酸菌が配合しており、乳酸菌の働きで便秘の原因ともなる腸内の有害菌を減少させ、おなかの調子を整えます。

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる）

1. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないこと
他の瀉下薬（下剤）
2. 授乳中の方は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けること
3. 大量に服用しないこと



相談すること

1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談すること

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 本人又は家族がアレルギー体質の人。
- (4) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (5) 次の症状のある人。
はげしい腹痛、悪心・嘔吐

2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談すること

- (1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	はげしい腹痛、悪心・嘔吐

- (2) 1週間位服用しても症状がよくならない場合

3. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談すること
下痢

効 能

○便秘

○便秘に伴う次の症状の緩和：頭重、のぼせ、肌あれ、吹出物、食欲不振（食欲減退）、腹部膨満、腸内異常醗酵、痔

用法・用量

次の量を、水又はぬるま湯で服用して下さい。

年 齢	1回量	1 日 服 用 回 数
成人(15才以上)	1～3錠	1日1回就寝前(又は空腹時)に服用して下さい。 ただし、初回は最小量を用い、便通の具合や状態をみながら少しずつ増量又は減量して下さい。
15才未満		服用しないで下さい。

<用法・用量に関連する注意>

- (1)用法・用量を厳守して下さい。
- (2)本剤は、腸溶性の錠剤ですので、かんだり、つぶしたりせずにそのまま服用して下さい。
- (3)服用の前・後1時間以内に制酸剤(胃腸薬など)や牛乳を飲まないようにして下さい。
有効成分が胃で溶けてしまい、効果が薄れたり、腹痛など不快症状を生じる可能性があります。
- (4)本剤をおやすみ前に服用されれば翌朝(作用があらわれる時間には、個人差がありますが6～11時間後を目安)に効果があらわれます。
- (5)右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、取り出してお飲み下さい。
(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。)

<PTPシートの取り出し図>



成分・分量 1錠中

成 分 名	分 量	作 用
ピサコジル	5mg	大腸の正常なぜん動運動を促進して、便秘を改善します。
センノシド	20mg	便秘の原因ともなる腸内の有害菌を減少させ、おなかの調子を整えます。
有孢子性乳酸菌	12mg	

添加物：CMC-Ca、ヒドロキシプロピルセルロース、メチルセルロース、ステアリン酸Ca、還元麦芽糖水アメ、乳糖、ヒドロキシプロピルメチルセルロース、ヒドロキシプロピルメチルセルロースフタレート、クエン酸トリエチル、マクロゴール、セラック、酸化チタン、カルナウバロウ、三酸化鉄

<成分・分量に関連する注意>

本剤に配合されているセンノシドにより、尿が黄褐色又は赤色になることがあります。

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管して下さい。
- (2)小児の手の届かない所に保管して下さい。
- (3)他の容器に入れ替えないで下さい。(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4)使用期限をすぎた製品は服用しないで下さい。



便秘しがちな方へ セルフメディケーションアドバイス

規則的な排便の習慣をつける

毎日時間を決めて一定時間トイレに入ること、排便の習慣が身に付きやすくなります。また、もよおした時、我慢しないことも大切です。



食生活改善

朝、昼、夕、3食きちんと食べること、バランスのとれた食事をするのが大切です。また、水分をたっぷり摂りましょう。



適度な運動・マッサージ

軽いストレッチでも構いません、腹筋を鍛えるつもりで運動しましょう。腹部のマッサージも腸を軽く刺激します。



製品のお問い合わせ先

小林薬品工業株式会社 お客様相談室
電話 058(278)3933
受付時間 10時から16時まで(土、日、祝日を除く)

副作用被害救済制度のお問い合わせ先

(独)医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
☎ 0120-149-931(フリーダイヤル)

製造販売元

小林薬品工業株式会社

岐阜県岐阜市中鶯1丁目139番地

本社所在地

東京都中央区日本橋箱崎町40番6号